

令和7年度 国語科 精選国語

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	2 年次
教科書	論理国語(大修館書店) 文学国語(数研出版)	副教材等	新訂 国語図説〔六訂版〕(京都書房) 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級(桐原書店) 読み解くための現代文単語(文栄堂)【B組のみ】

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	【観点の到達目標】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 ・漢字テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・定期考査 ・授業プリント ・ノート	【評価の方法】 ・ノート ・授業プリント

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	対話の精神	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主】学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
5 6 7	山月記	【知・技】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主】人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・期末考査 ・漢字小テスト
9	家族化するペット	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主】学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に着目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
9 10 11 12	こころ	【知・技】人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思・判・表】「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主】作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・期末考査 ・漢字小テスト
1	方言コスプレ	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
1 2	スキーマと記憶	【知・技】本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思・判・表】「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。 【主】本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
2 3	永訣の朝	【知・技】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・ノート ・振り返りシート（プリント） ・スライド課題 ・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとりえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作ります」ものだのとらえ、積極的に参加しよう。

また、ノートは黒板に書いてあるものを写すだけではなく、教員が話したことやクラスメートの発言をメモしたり、自分で調べたことを書いたりするなど工夫して自分だけのノートを作ろう。

令和7年度 国語科 古典探究

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2 年次
教科書	古典探究(文栄堂)	副教材等	新訂国語図説 六訂版(啓隆社) 【B組のみ】みるみる覚える古文単語300(いっずな書店)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・古典文法や漢文の句法など、読む上で必要なまじり習得する。 ・昔の文化や常識に触れ、現代と比較しながら考える。	【イチカシ学カスタンダード】 ・古典に関する知識を活用し、自力で原文を読めるようにする。 ・文章を読み感じたことをもとに、議論したり発表したりする。	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に授業に参加する。 ・古典の授業で得た学びを、実社会に生かそうとする。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・課題(レポート等)	【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・課題(レポート等) ・活動の成果(個人・グループ)	【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・ノート ・授業の取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に照らし合わせ、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	古文に親しむ 十訓抄 —大江山	【知・技】古典を読むために必要な文語のきまりや和歌の基本的事項について理解している。 【思・判・表】作中人物の意図や思いを読み取っている。話の要約と、それについての意見や疑問を述べることができる。 【主】自分の意見を他者に伝え、他者の考えを理解しわかり合おうとしている。	定期考査 小テスト 課題 レポート 活動の成果 ノート
5	ものの伝え方を読み取る 伊勢物語 —梓弓	【知・技】和歌の修辞、歌物語の特徴について理解している。 【思・判・表】和歌に込められた修辞を指摘し、それを踏まえて登場人物の心情を読み取っている。 【主】他者の意見や考えを聞き、自分の知見、考察に生かそうとしている。	
6 7	漢詩の世界を味わう 涼州詞・月夜・送友人	【知・技】漢詩の形態上の特徴を理解している。 【思・判・表】分にとつての作品の価値について考察を行っている。 【主】他者の発表にも学び、自分の考えを深めようとしている。	
9 10	先人の世界を理解する 枕草子 —中納言参りたまひて	【知・技】敬語を使用した会話文を理解している。 【思・判・表】作者の隆家に対する発言の意図とそれに対する隆家の賞賛の意味を理解している。 【主】他者に、自分の考えを説明することができる。	
11 12	人物像を読み取る 史記 —鴻門之会	【知・技】訓読のきまりを理解している。 【思・判・表】文章の構成や展開を理解している。 【主】他者の発表にも学び、自分の考えを深めようとしている。	
1 2 3	思いを読み取る 源氏物語 —若紫	【知・技】「若紫」の巻の登場人物の関係を理解している。 【思・判・表】登場人物の思いを読み取っている。 【主】他者の考えを知り、自分の考えを深めようとしている。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

授業を「受ける」のではなく、「主体的に参加」してください。

ノートをとる際は、板書を写すだけでなく、自分からメモをとる習慣をつけることが大切です。わからないことは、その日のうちに解決してください。これらのことを一年間実践すれば、必ず国語力が身に付きます。一緒に頑張りましょう。

令和7年度 国語科 古典研究

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	古典探求(文英堂)	副教材等	新訂国語図説六訂版 (啓隆社)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【イチカシ学カスタンダード】 ◇国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ◇グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ◇プレゼンテーションについて 自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ◇「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、物事を多方面から捉えられるようにする。
【評価の方法】 ○小テスト ○課題レポート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート	【評価の方法】 ○小テスト ○課題レポート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート ・授業振り返りシート	【評価の方法】 ○小テスト ○課題レポート ○授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 7	源氏物語 百人一首	【知・技】『源氏物語』という作品について基礎的な知識を持っている。 『源氏物語』の登場人物の関係を理解している。 【思・判・表】話の展開を把握している。 登場人物の思いを読み取っている。 自分の考えを持ち、発表できる。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 他者の考えを知り、自分の考えを深めようとしている。	○小テスト ○レポート ○課題レポート ・プレゼンテーション ・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート (演習含む)
9 12	源氏物語 百人一首	【知・技】『源氏物語』という作品について基礎的な知識を持っている。 『源氏物語』の登場人物の関係を理解している。 【思・判・表】話の展開を把握している。 登場人物の思いを読み取っている。 自分の考えを持ち、発表できる。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 他者の考えを知り、自分の考えを深めようとしている。	
1 3	課題研究 問題演習	【知・技】読解のために必要な古文単語や文法について理解を深めている。 【思・判・表】話の展開を把握している。 作中人物の心の動きや行動等の丁寧な読み取りができています。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 自身の教材への考えを深めようとしている。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでほしい。

自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、他所の意見にも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作ridす」ものだととらえ、積極的な取り組みを期待する。

令和7年度 公民科 公共

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	公共 (第一学習社)	副教材等	

2 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	【観点の到達目標】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	【観点の到達目標】 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい言葉を習得し、日常生活の中で使うことができる。 資料を読み取るだけでなく、自ら資料をまとめ、他者に説明できるようにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ・グループワークを通して課題を構想し、自分なりの解決方法を説明することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 他者の意見も尊重しながら考えを聞くことができ、自らの意見を形成することができる。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・授業プリント など	【評価の方法】 ・資料作成 ・授業内での記述、発表等 ・定期考査 など	【評価の方法】 ・振り返りシート ・課題 ・提出物 など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	【知・技】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解している。 【思・判・表】 生涯にわたって学習していくことの意義を考えることができる。選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働によって国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物

5	公共的な空間における基本的原理	【知・技】古今東西の先人の取り組み, 知恵などを踏まえ, 公共的な空間における基本的原理を理解している。 【思・判・表】選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し, 環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】人権保障のあゆみや世界の政治体制, 日本国憲法などを通して, 公共的な空間における基本的原理が, 現代社会でどのような形で生かされているかを追究することができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
6	法的な主体となる私たち	【知・技】法やルールを定める時にはどのようなことに配慮する必要があるかを理解している。 【思・判・表】身のまわりの偏見や差別・不平等, 自由権が保障されていない問題について理解し, その解決策を考えることができる。 【主】安全で豊かに生き, 法をよりよいものにするための権利や, それを実現するための法・規範について意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
7	司法参加の意義	【知・技】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと, 国民が果たすべき責任を理解している。 【思・判・表】なぜ裁判所が必要なのかを司法権の独立や裁判所のしくみ, 最高裁判所の違憲審査権から考えることができる。 【主】司法参加の意義について意欲的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
9	政治的な主体となる私たち	【知・技】選挙の意義や課題, 世論の形成や政党の役割を理解している。主権者である国民と国会・内閣の関係を理解している。 【思・判・表】地域社会の課題に, 私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを考えることができる。 【主】民主政治を推進するために, 私たちが果たすべき責任について理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
10	国際社会と国家主権	【知・技】主権国家が並び立つ国際社会は, どのように成り立っているのかを理解する。日本国憲法の平和主義の下, 私たちが果たすべき責任を理解する。 【思・判・表】領土問題の背景と現状について考察することができる。軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。 【主】国境や領土をめぐる諸課題についての解決方法を主体的に考え取り組んでいる。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を意欲的に学んでいる。	ペーパーテスト レポート 製作物
11	雇用と労働問題	【知・技】労働者を守るための法や権利を理解している。経済の基本的なしくみを理解している。 【思・判・表】少子高齢化による労働力不足が問題となる中, 活発な経済活動と労働者の働きやすさとともに成り立たせるために必要なことは何か考えることができる。 【主】グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において, 将来の働き方をどのように考えていけばよいか意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
12	市場経済の機能と限界	【知・技】公正で自由な経済活動を通して, 市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解している。経済における政府の関わり方や市場における需要と供給の関係について理解している。 【思・判・表】国民所得や景気変動を理解し, 私たちが豊かに暮らすための指標について考えることができる。 【主】市場の失敗の例の一つである公害など身近な問題についても意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
1	財政の役割と社会保障	【知・技】財政や社会保障の意義やしくみについて理解している。 【思・判・表】少子高齢化が進む中で, 財政や社会保障を持続可能なものにするために, 政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考えることができる。 【主】日本の財政の課題について意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
2	経済のグローバル化	【知・技】自由貿易と保護貿易の違いについて考え, 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解している。外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解している。 【思・判・表】経済がグローバル化の中で, 貧困や格差などの問題を乗り越え, すべての人が幸福に暮らすために, 国際社会や私たちがどうあるべきかを考えることができる。 【主】経済のグローバル化が日本経済にどのような影響をおよぼしているか理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知・技】地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解している。 【思・判・表】地域の創造, よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について考えることができる。 【主】現代の諸課題を探究する活動を意欲的に行っている。	ペーパーテスト レポート 製作物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

古代ギリシアの哲学者アリストテレスが『人は社会的動物である』と言ったように、人は社会を作ることによって外敵から身を守り、効率的に生産物を作り、繁栄してきました。社会の一員となるにあたって、様々なものの見方、考え方を身に付け、諸問題について協力して解決方法を考察、構想していく自覚を持たなければなりません。まだ実感の沸かない話も多いかと思いますが、想像力を働かせ、自分の将来の生活をイメージしながら、周囲と協力することでより良い人生を送れるように学習に取り組んで下さい。

令和7年度 地理歴史科 歴史総合

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	2年次
教科書	高等学校 歴史総合（第一学習者）	副教材等	歴史総合ノート

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める
【イチカシ学カスタンダード】 ・基礎的・基本的事項の確実な習得 ・資料の収集・読み取り・まとめを確実に行える力	【イチカシ学カスタンダード】 ・概念等を活用して多面的・多角的に考察する力 ・考察・構想したことを、効果的に説明・議論する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・自らの学び方も学ぶ
【評価の方法】 ・中間及び期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート、その他パフォーマンス評価	【評価の方法】 ・中間及び期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート、その他パフォーマンス評価	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・グーグルスライド等での毎時間の取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月	歴史の扉	【知・技】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思・判・表】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上の知識及び技能観点で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

		察し、表現している。 【主】近代に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	
4月 5月	近代化への問い 結び付く世界と 日本の開国	【知・技】18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思・判・表】18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】結び付く世界と日本の開国に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
6月 7月	国民国家と明治 維新 近代化と現代的 な諸課題	【知・技】18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思・判・表】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】国民国家と明治維新に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
9月 10月 11月	国際秩序の変化 や大衆化への問い 第一次世界大 戦と大衆社会	【知・技】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思・判・表】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化・第一次世界大戦と大衆社会に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
11月 12月	経済危機と第二 次世界大戦 国際秩序の変化 や大衆化と現代的 な諸課題	【知・技】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思・判・表】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
1月 2月	グローバル化への問い 冷戦と世界経済	【知・技】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思・判・表】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】グローバル化への問い・冷戦と世界経済に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
2月 3月	世界秩序の変容 と日本	【知・技】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 【思・判・表】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

		【主】世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	
3月	現代的な諸課題の形成と展望	【知・技】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 【思・判・表】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主】現代的な諸課題の形成と展望について、見通しを持って課題に取り組もうとし、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

「歴史総合」では、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得することを目指します。

また、私たちが良く耳にする「近代化」、「国際秩序の変化や大衆化」、「グローバル化」といったキーワードを、近現代の歴史の大きな変化をみる視点とし、現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか?を探究していきます。1年間楽しく学習しましょう。

令和7年度 数学科 数学Ⅱ

1 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	2年次 総合進学 2年次 一般理系 2年次 一般文系選択 3年次 国際教養・一般音楽選択
教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)	副教材等	3TRIAL (数研出版)

2 科目の目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	【観点の到達目標】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・数学Ⅱにおける基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。
【評価の方法】 定期考査 小テスト	【評価の方法】 定期考査 小テスト	【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6	第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式	【知・技】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思・判・表】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主】 ・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
7 9	第3章 図形と方程式	【知・技】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思・判・表】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
10 11	第4章 三角関数	【知・技】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思・判・表】 ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。

12 1	第5章 指数関数・対数関数	【知・技】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思・判・表】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
2 3	第6章 微分・積分	【知・技】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思・判・表】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・「数学Ⅱ」は、「数学Ⅰ」の内容を発展、拡充させていく科目の一つで「数学Ⅲ」への橋渡しとなる科目です。
- 将来、より高度な数学を学びたい人にとっては、その中核となる内容になっている大切な教科です。
- ・数学的な見方や考え方の良さについては、日常生活の中でも実感することができます。問題解決等に当たって、問題を数学の対象としてとらえ具体的な手順などを考えることや、数学的な計算や処理ができることが数学の理解を深めることになります。
- ・数学という教科は単に計算が得意であれば良いものではなく、物事に対して筋道を立てて考えるということがとても大切です。その考え方が他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんありますので、日々の学習を大切にしてください。
- ・授業中だけではあまり問題演習の時間がとれないこともあります。授業での内容を習熟させるためにも家庭学習をしっかりと行って下さい。

令和7年度 数学科 数学 B

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	新編数学 B (数研出版)	副教材等	3TRIAL (数研出版)

2 科目の目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・数列、統計的な推測についての概念や原理・法則を体系的に理解している ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技術を身に付けている。	【観点の到達目標】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 B における基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト	【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト	【評価の方法】 ・問題集用ノート提出 ・授業内発表 ・授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 9	第1章 数列	【知・技】数列の基礎的な概念と知識を理解している。等差数列、等比数列など、簡単な数列について一般項や第n項までの和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる。 【思・判・表】記号Σ、階差数列やいろいろな数列、漸化式、数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる 【主】数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
10 11 12 1 2 3	第2章 統計的な推測	【知・技】確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 【思・判・表】確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主】確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には、そのままにせず、すぐに自分で教科書を読んだり、人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると、それが原因で多くの内容がわからなくなってしまう。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため、家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にしてください。
- ・授業開始時には、教科書・プリントファイル・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は、その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し、演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守をお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和7年度 理科 地学基礎

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科 2年
教科書	高等学校 地学基礎(第一学習社)	副教材等	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)

2 科目の目標

地球科学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 地球を取り巻く環境の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、観察・実験を通してそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、科学的に探究する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 地球を取り巻く環境の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	【観点の到達目標】 地球を取り巻く環境の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 日常生活や社会との連携を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解する。観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。	【イチカシ学カスタンダード】 観察・実験などを行い、科学的に考察する表現力を身に付ける。	【イチカシ学カスタンダード】 観察、実験、レポート、ノート作成を通して、知識を整理する。演習を反復することで理解を深める。
【評価の方法】 定期考査, レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 定期考査, レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第4章 『宇宙と地球』 第 1 節:宇宙と太陽の誕生	・地球や惑星の運動, 太陽系の構成について興味を持ち、観察や実験を行いながら積極的に学習しようとする。【知】【主】 ・宇宙が膨張していることを、モデルを使って確かめることができる。【思・判・表】 ・星までの距離や星の性質などの知識を身に付け、星の構造や進化, 宇宙の構造や成り立ちなどについて理解できる。【知】	レポート課題 レポート発表 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
5	第 2 節:太陽系と地球の誕生	・太陽が恒星の一つであることが把握でき、太陽の性質と太陽表面で起こっている現象について考え、それを表現できる。【知】【思・判・表】 ・太陽光のスペクトルの観察を行い、吸収線が見られる仕組みがわかる。【思・判・表】 ・太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身に付け、地球と太陽系の運動について理解できる。【知】	

6 7	第5章 『生物変遷と地球環境』 第1節:地層と化石 第2節:地球と生物の変遷	・地形や地層,化石の観察方法を習得し,観察結果に基づき,土地の成り立ちや環境についての推論を行うことができる。【思・判・表】 ・地球の歴史に関心を持ち,積極的に調べようとする。【知】【主】 ・時代を経るごとに生物が多様化し,環境に適応してきたかを考えることができ,生命の大切さについても判断できる。【知】【主】 ・地球の表面に生きる生物が,地球の変化と密接な関連を持ちながら進化してきたことが分かる。【知】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
9 10 11 12	第1章 『地球のすがた』 第1節:地球の概観 第2節:プレートの運動 第2章『地球の活動』 第1節:地震 第2節:火山活動	・地球の形と大きさについて,どのような方法で調べたのか,また,実際の形や大きさに興味を持って意欲的に学習しようとする。【知】【主】 ・地殻を作る物質に関心を持ち,どのような物質から構成されているかを探究的に学習しようとする。【主】 ・地球内部のエネルギーの放出現象として,火山や地震に興味を持ち,原因・災害などについて探究的に調べようとする。【思・判・表】 ・プレートの運動により,地震や火山,現在の大地形などが形成されていると考えることができる。【思・判・表】 ・地球内部の構造について認識できるとともに,地球表層や地球内部の運動について原理も含めて理解できる。【知】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
1 2 3	第3章 『大気と海洋』 第1節:地球のエネルギー収支 第2節:大気と海水の運動 第6章 『地球の環境』 第1節:地球環境の科学 第2節:日本の自然環境	・大気の水平方向の循環について把握し,高緯度から低緯度への熱の輸送が行われていること,毎日の天気の変化など日常生活と密接に関連していることが分かる。【知】 ・地球温暖化やオゾン層破壊,エルニーニョ現象などが人間生活に関連していることが分かる。【知】 ・地球をめぐる大気の運動により天気の変化が引き起こされることについて,意欲的に学習する。【知】【思・判・表】 ・自然災害の予測や防災について積極的に探究することができる。【知】【主】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業や実験は地学教室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。
- ・持ち物：教科書,ノート(授業プリントは点検・返却後,ノートに貼って管理する),問題集,問題集の解答解説
※タブレットは、授業で使用する場合は事前に連絡します。
- ・実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。

令和7年度 理科 化学

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科 2 年次
教科書	化学 704 「化学」 実教出版	副教材等	「アクセスノート化学」 実教出版

2 科目の目標

化学的な事物・現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行うことを通して, 化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 化学的な事物・現象を対象に, 探究の過程を通して, 情報の収集, 仮説の設定, 実験の計画, 実験による検証, 実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。報告書を作成したり, 発表したりして, 科学的に探究する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 化学的な事物・現象に対して, 主体的に関わり, それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また, 科学的に探究しようとする。
【イチカシ学カスタンダード】 ・元素記号 ・化学式 ・計算 ・実験のスキル	【イチカシ学カスタンダード】 ・ディスカッション ・グループワーク ・実験の考察	【イチカシ学カスタンダード】 ・調べ学習 ・発展問題への取り組み ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・定期考査

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	状態変化	【知・技能】物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 【思・判・表】物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 【主】化学的な事象・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
5	固体の構造	【知・技能】結晶構造について、基本的な知識を身につけており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 【思・判・表】結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 【主】結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。	
6	気体の性質	【知・技能】ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 【思・判・表】気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 【主】気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。	
7	溶液	【知・技能】溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。溶解度の定義や法則を理解している。沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。 【思・判・表】溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて論理的に考えることができる。 溶解度について理解し、計算することができる。沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。コロイド溶液の性質について、推論することができる。 【主】物質の溶解の仕方と溶解度について関心をもち、探究しようとする。溶液の性質に関心をもち、意欲的に探究しようとする。コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心をもち、意欲的に探究しようとする。	
9	化学反応と熱・光エネルギー	【知・技能】化学反応と熱・光エネルギーの関係について、基本的概念を理解している。 【思・判・表】化学反応と熱・光エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 【主】化学反応とエネルギーの関係について関心をもち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
10	電池と電気分解	【知・技能】電池と電気分解のしくみについて理解し、電流量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 【思・判・表】化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 【主】化学反応とエネルギーの関係について関心をもち、電気エネルギーについて探究しようとする。	
11		【知・技能】反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。	
12	反応の速さとしくみ	【思・判・表】反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 【主】反応の速さに関する事象・現象に関心をもち、反応のしくみを探究しようとする。	
1	化学平衡	【知・技能】化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 【思・判・表】化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 【主】化学反応における可逆反応、化学平衡に興味をもち、その現象について探究しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
2	周期表	【知・技能】周期表における各元素の配置、性質を理解している。 【思・判・表】無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。 【主】周期表における元素の配置に興味をもち、各元素の分類を探究しようとする。	
3	非金属元素 金属元素	【知・技能】非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 【思・判・表】それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 【主】それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心をもち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 【知・技能】金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 【思・判・表】それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 【主】それぞれの金属元素の単体、化合物について関心をもち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・身近な物質や現象について普段から関心をもち、授業で学習する事柄と結びつけて考える習慣を身につけること。
- ・ノートは、板書をそのまま写すだけでなく、自分なりに工夫し学習の助けにする。
- ・実験には意欲・関心を持って取り組み、実験結果や、そこから考察を自分自身で考えて、実験の意味を把握するようにつとめる。
- ・課題プリントや問題集を積極的に解いて、反復して学習内容の定着をはかる。
- ・実験では、事前の注意事項をよく聞き指示に従い事故のないように十分注意すること。
- ・実験は、班で協力して準備・実験・記録・データ処理・片付けを行えること。
- ・欠席した場合はノートやプリントを周囲の人から借りて自筆で写し、準備をすること。

令和7年度 理科 生物

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	高等学校 生物（第一学習社）	副教材等	スクエア最新図説生物（第一学習社） セミナー生物（第一学習社）

2 科目の目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・生物の進化のしくみについて理解する。 ・生物の分類は種を基本単位として行われていることを理解する。 ・タンパク質の構造と働きについて理解する。 ・同化と異化について理解する。 ・DNA の複製と、遺伝子の発現について理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 ・基本的な実験操作を習得し、実験を通して結果から考察できるようになる。 ・実験結果を表やグラフに表し、適切に処理できるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・生物の各分野において、授業に集中して取り組み、テーマごとの課題解決に取り組むことができる。 ・観察、実験、レポート、ノート作成を通して、知識を整理することができる。 ・疑問に思ったことは質問するなど、演習を反復することで自主的に理解を深める。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・課題 ・授業プリント ・授業態度	【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・課題 ・授業プリント ・授業態度	【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・課題 ・授業プリント・授業態度 ・振り返りシートでの記述

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第1章 生物の進化 第1節 生命の起源と細胞の進化	【知・技】原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解している。 光合成生物の出現が地球環境に与えた影響について科学的に理解している。 細胞内共生について理解している。 【思・判・表】大気中の酸素濃度の変化を示す資料にもとづいて、シアノバクテリアの繁栄や真核生物の出現・繁栄が大気組成の変化と関わりがあることを見いだして説明することができる。 【主】シアノバクテリアの繁栄や真核生物の出現・繁栄と大気組成の変化の関係について論理的に説明しようとしている。 細胞の進化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント
5	第1章 生物の進化 第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 第3節 進化のしくみ	【知・技】突然変異について理解している。 DNA の塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解している。 減数分裂によって生じる配偶子の染色体の組み合わせについて理解する。 遺伝子の連鎖について理解している。 組換えが生じることによって、配偶子の染色体構成が多様化することを理解している。 遺伝子頻度について理解している。 中立進化が生じるしくみについて理解している。 【思・判・表】DNA の塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを説明することができる。 減数分裂にて生じる染色体の組み合わせを論理的に理解し、説明することができる。 【主】遺伝子の変化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 種分化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント 中間調査
6	第2章 生物の系統と進化 第1節 生物の系統	【知・技】分子時計の考え方を理解している。 平均距離法を用いた系統樹の推定方法について理解している。 生物はその共通性からいくつかの界やドメインに分けられることを理解している。 五界説では、真核生物に属する生物が、さらに4つに分かれることを理解している。 【思・判・表】種間に共通してみられるタンパク質のアミノ酸配列の違いにもとづいて系統関係を推定できることを見だし、説明することができる。 平均距離法を用いて系統樹を推定することができる。 3つのドメインの系統関係を説明することができる。 【主】生物の系統と分類の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント
7	第2章 生物の系統と進化 第2節 人類の系統と進化	【知・技】霊長類の進化の過程を理解している。 霊長類および類人猿の形質の特徴を理解している。 直立二足歩行と脳容積の変化との関係について理解している。 人類の拡散のようすを理解している。 【思・判・表】霊長類に関する資料にもとづいて、ヒトを含む人類の形態的特徴と進化の過程に関連があることに気づき、人類の進化の道筋について説明することができる。 【主】ヒトを含む人類の形態的特徴と進化の過程の関係を、資料にもとづいて論理的に説明しようとしている。 人類の系統と進化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント 期末調査
9	第3章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞	【知・技】生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解している。 水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解している。 生体膜は、リン脂質二重層にさまざまなタンパク質がモザイク状に分布したものであることを理解している。 【思・判・表】真核細胞内の細胞骨格や構造体の特徴について説明することができる。 【主】細胞を構成する物質の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント
10	第3章 細胞と分子 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 生命現象とタンパク質	【知・技】タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながった物質であることを理解している。 アミノ酸やペプチド結合の構造を理解している。 タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解している。 タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを理解している。 酵素が基質と結合することで活性化エネルギーが小さくなり、反応が進みやすくなることを理解している。 酵素の基質特異性と立体構造との関係について理解している。 酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解している。 酵素反応ではフィードバック調節がみられることを理解している。 選択的透過性について理解している。 受動輸送と能動輸送との違いを理解している。 【思・判・表】生体内に存在するタンパク質がそれぞれ特有の働きをもつ理由を説明することができる。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント 中間調査

		加熱によるカタラーゼの働きの変化を検証する実験を立案することができる。 【主】タンパク質の構造と性質の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 酵素、膜輸送タンパク質、受容体の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	
11	第4章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 炭酸同化	【知・技】代謝におけるエネルギーの流れについて理解している。 同化と異化の違いを理解している。 葉緑体の構造を理解している。 植物の葉緑体に含まれる光合成色素の種類と色について理解している。 カルビン回路の過程と消費される物質と生じる物質を理解している。 【思・判・表】代謝には同化と異化があることを理解し、違いを説明することができる。 光合成の概要を示した資料にもとづいて、光合成の過程におけるエネルギーの流れを説明することができる。 光化学系II、電子伝達系、光化学系Iで起こる反応と、ATP合成の関係について説明することができる。 カルビン回路で起こる反応について説明することができる。 【主】同化と異化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント
12	第4章 代謝 第3節 異化	【知・技】ミトコンドリアの構造を理解している。 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系の各過程について理解している。 呼吸商から呼吸基質を推定することができる。 光合成と呼吸の共通点について理解している。 呼吸と発酵の違いについて理解している。 アルコール発酵と乳酸発酵の違いを理解している。 発酵の過程について理解している。 【思・判・表】呼吸の概要を示した資料にもとづいて、呼吸の過程におけるエネルギーの流れを説明することができる。 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系の各過程について説明することができる。 呼吸商から呼吸基質を推定することができる。 【主】呼吸とミトコンドリアの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 発酵の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント 期末考査
1	第5章 遺伝情報とその発現 第1節 DNAの複製	【知・技】DNAは、2本のヌクレオチド鎖が互いに逆向きに結合した構造をとることを理解している。 DNA複製の際に働く各種酵素について理解している。 半保存的複製を証明した実験手法とその結果の解釈について理解している。 【思・判・表】DNAの複製の過程について説明することができる。 DNAの二重らせんに方向性があることとDNA合成酵素の性質から、DNAの複製の際にはリーディング鎖とラギング鎖が生じることを説明することができる。 【主】DNAの構造と複製の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント
2 3	第5章 遺伝情報とその発現 第2節 遺伝子の発現	【知・技】RNAのヌクレオチドの種類と構造を理解している。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解している。 スプライシングの過程について理解している。 選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつくられることを理解している。 遺伝暗号表について理解している。 リボソームの構造と働きを理解している。 tRNAの構造と働きを理解している。翻訳の過程を理解している。 原核生物における転写・翻訳の過程について理解している。 【思・判・表】真核生物における転写の過程について説明することができる。 真核生物におけるスプライシングのしくみと、選択的スプライシングによって1つの遺伝子から2種類以上のmRNAが生じるしくみについて説明することができる。 真核生物における翻訳の過程を説明することができる。 原核生物における転写・翻訳の過程を説明することができる。 【主】転写の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	授業態度 発問評価 小テスト 課題プリント 学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。
- ②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。
- ③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。
- ④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。

令和 7 年度 理科 物理基礎

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	高等学校 物理基礎 (第一学習社)	副教材等	プロGRESS物理基礎

2 科目の目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

・日常生活や社会との関連を図りながら, 物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

・観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。

・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 日常生活や社会との関連を図りながら, 物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象の中に問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・物理量を正しく扱うことができる (有効数字の計算) ・運動とエネルギーに関する公式を理解し, 問題を解くことができる	【イチカシ学カスタンダード】 ・ディスカッションやグループワークを通して実験, 課題の考察を行い, 自ら思考・判断し, 自分の考えを表現できる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・調べ学習や発展問題・課題に積極的に取り組むことで, 自ら課題を見つけ, 主体的に学ぶことができる。 ・実験の手順を見て, 周囲と協力して実験を行うことができる
【評価の方法】 各種テスト レポート 課題 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 各種テスト レポート 課題 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 各種テスト レポート 課題 授業ノート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	序章 物理量の測定と扱い方 第Ⅰ章 運動とエネルギー 第Ⅰ節 物体の運動 ①速度 ②加速度 ③落下運動	・物理量, 数値, 数式のそれぞれの表し方を理解する。【思・判・表】 ・誤差と有効数字を理解し, 測定値の計算に取り組む。【知・技】 ・物体の変位や速度などの表し方について, 直線運動を中心に理解する。 ・【知・技】 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。【思・判・表】 ・物体の加速度を理解し, 等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。【思・判・表】 ・物体が空中を落下するときの運動を調べ, その特徴を理解する。 ・【知・技】 ・自由落下や鉛直投射について, 式やグラフを用いて考えることができる。【主】	
6 7	第Ⅱ節 力と運動の法則 ①さまざまな力 ②力の合成・分解とつりあい ③運動の3法則 ④運動方程式の利用 ⑤摩擦力を受ける運動 ⑥液体や気体から受ける力	・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。【知・技】 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い, つりあいについて理解を深める。【主】 ・作用・反作用の法則を扱い, つりあう2力との違いを理解する。【知・技】 ・運動の3法則について, 観察や実験を通して理解する。【思・判・表】 ・運動方程式の立て方について学習し, さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。【思・判・表】 ・摩擦力の特徴を理解し, それを含めた運動について理解する。 ・水圧と浮力の関係について理解する。【知・技】	
9 10	第Ⅲ節 仕事と力学的エネルギー ①仕事と仕事率 ②運動エネルギー ③位置エネルギー ④力学的エネルギー	・仕事, 仕事の原理, 仕事率を学習し, 物理における「仕事」について理解する。【知・技】 ・運動エネルギーと仕事の関係について, 式を用いて理解する。【知・技】 ・位置エネルギー, 保存力を学習し, 仕事と関連づけてそれぞれを理解する。【思・判・表】 ・力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し, 法則が成り立つ条件とともに理解する。【思・判・表】	
11 12	第Ⅱ章 熱 第Ⅰ節 熱とエネルギー ①熱と温度 探究5 比熱の測定 ②エネルギーの変換と保存 第Ⅲ章 波動 第Ⅰ節 波の性質 ①波の表し方と波の要素 ②波の重ねあわせと反射	・熱運動, セルシウス温度, 絶対温度を学習し, 温度について理解する。【知・技】 ・熱と熱量を学習したのち, 熱平衡, 比熱, 熱容量, 熱量の保存, 潜熱について理解する。 ・【知・技】 ・熱量の保存を利用し, 物質の比熱を測定する。【主】 ・熱と仕事とが同等であることを学習し, 内部エネルギー, 熱力学の第Ⅰ法則を理解する ・【思・判・表】 ・熱機関と熱効率を学習し, 可逆変化と不可逆変化について理解する。【知・技】 ・さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち, エネルギーの保存について理解する。【知・技】 ・正弦波と波, 振幅, 波長, 周期, 振動数, 媒質の振動など, 波の要素について学習する。 ・【主】 ・y-xグラフ, y-tグラフのそれぞれの特徴について理解する。【思・判・表】 ・横波, 縦波の特徴や, 波のエネルギーについて理解する。【知・技】 ・波動実験器を用いた観察などを通して, 重ねあわせの原理と波の独立性について理解する。【思・判・表】 ・重なりあった波の作図などを通して, 定常波が生じるしくみを理解する。 ・【思・判・表】 ・パルス波の反射, 正弦波の反射について, 反射の仕方, 反射波と合成波の作図の仕方を理解する。【思・判・表】	

	第 2 節 音波 ①音波の性質 ②物体の振動	・音波の伝わり方を学習し, 空気中における音速と温度の関係を理解する。【思・判・表】 ・音の 3 要素(音の高さ, 大きさ, 音色)について, 音波の波形の特徴を理解する。【知・技】 ・身近な現象と関連させ, 音の反射について理解する。【思・判・表】 ・うなりが生じるしくみを理解し, うなりの回数を計算することができる。【思・判・表】 ・弦に生じる振動の特徴を学習し, 波の波長, 振動数の関係を式を用いて理解する。【思・判・表】 ・気柱に生じる振動の特徴を学習し, 波の波長, 振動数の関係を式を用いて理解する。振り子やおんさを例に, 共振, 共鳴について理解する。【知・技】	
1 2 3	第IV章 電気 第 1 節 静電気と電流 ①静電気 ②電流と抵抗 ③電気エネルギー 第 2 節 電流と磁場 ①磁場 ②モーターと発電機 ③交流と電磁波 第 3 節 エネルギーとその利用 ①太陽エネルギーと化石燃料 ②原子力エネルギー	・摩擦電気を通して電気現象の原因となる電荷を学習し, 帯電のしくみについて理解する。【思・判・表】 ・電流や電圧とは何かを学習し, オームの法則について理解する。【知・技】 ・ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について測定し, 抵抗率を導入する。【知・技】 ・導体の抵抗率が温度変化によってどのように変化するかを理解する。【思・判・表】 ・抵抗の直列接続, 並列接続における特徴を踏まえ, 合成抵抗を理解する。【思・判・表】 ・ジュールの法則を扱い, 電力量と電力について理解する。【知・技】 ・電流がつくる磁場について理解する。【知・技】 ・モーターが回転するしくみ, 発電機で電気が生じるしくみを理解する。【思・判・表】 ・直流と交流の違いを知り, 交流の性質を踏まえ, 変圧器や送電について理解する。【思・判・表】 ・電磁波の発生, 電磁波の分類について理解する。【知・技】 ・太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し, エネルギーの流れや問題点などを理解する。【知・技】 ・放射線の種類とその性質を学習し, 原子力発電についてのメリットとデメリットを知る。【主】	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

別紙参照

令和 7 年度 保健体育科 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 学習内容について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 学習内容に対して、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・定期考査 ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。 日常的なケガの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

	手当		
5	・心肺蘇生法 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康	心肺蘇生法の手順と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。訓練用人形を使用し、心肺蘇生法を実際におこない、技能を身につける。 思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
6	・性意識と行動の選択 ・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	性意識の男女差、制に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて説明することができる。 妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。 家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
7	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。 加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
9	・働くことと健康 ・労働災害と健康	働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。 労働災害及び労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
10	・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備	職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。 大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。 大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。 ゴミの処理の現状とその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
11	・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	食品の安全性と健康とのかかわりや、今日的課題について説明することができる。 食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

12	・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用	保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解し、説明することができる。 医療保険のしくみ、医療機関の役割について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
1	・医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて例を挙げて説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
2	・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	民間機関や国際機関などの保護活動について理解し、説明することができる。 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

アドバイス

・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に 自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないよう積極的に活動することが大切です。

守ってほしい事項

- ・教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。
- ・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。
- ・欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育科 体育

1 科目について

単位数	3単位	学科・学年	2年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを旨とする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。	【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなど主体的に取り組める。
【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知も含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。	【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A

十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	おおむね満足できる B 努力を要する C
--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	ガイダンス 体育理論 体づくり運動	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
5	武道・ダンス 球技 (バスケットボール)	【知・技】・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
6	器械運動 (跳び箱) 陸上競技 (投擲・幅跳び)	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
7 9	水泳 武道・ダンス	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
10 11	器械運動 (跳び箱) 陸上競技 (投擲・幅跳び) 球技 (テニス・バスケットボール)	【知・技】・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
12 1 2	陸上競技 (長距離走)	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト

3	球技（サッカー・バドミントン） 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
---	---------------------------	---	-----------------------------

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

アドバイス

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

守ってほしい事項

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	単元名 サッカー	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本練習 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・サッカーのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した身体の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【思・判・表】 学習内容(2学期) ・応用動作 ・簡易ゲーム 評価の観点 ・基本動作をチームでの攻防の際に実践する。【知・技】 ・シュートパスやロングパスを使ったオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型での防御ができるようにする。【思・判・表】 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察
4月 から 3月	ソフトボール	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本動作 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・競技のルールや用語を理解する。【知・技】 ・グローブやバットの操作、安定した用具の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける【思・判・表】 学習内容(2学期) ・応用練習 ・簡易ゲーム 評価の観点 ・個人やチームの特長を活かして作戦を立て、実践の場面を想定しながらの練習を行う。 【思・判・表】 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、試合を適切に運営すること。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察

[illegible]

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

と。

- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ概論

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	なし	副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・定期テスト ・ワークシート分析 ・発表 ・レポート 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・定期テスト ・ワークシート分析 ・レポート ・発表 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・レポート ・発表 ・ワークシート分析 ・行動観察 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	単元名 スポーツの効果的な学習のしかた	(内容) 骨格・筋肉の名称・構造 運動技能の構造・運動技能の上達 体力について 技術や戦術を実践する際に、それらを支える体力や筋肉について理解を深める。【知・技】 自分の専門種目の技術や戦術を実践する際に、それらを支える体力についてレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】	定期テスト【知・技】 レポートの内容の分析【思・判・表】 行動観察【主】
9 ～ 12	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴を理解する。【知・技】 自分の専門種目の歴史、文化的特性を調べ、レポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】(内容) スポーツの楽しみ方に応じた練習法 スポーツの楽しみ方に応じた練習法について理解を深める。【知・技】 自分の専門種目のスポーツの楽しみ方に応じた練習方法をについてレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】	レポートの内容の分析【思・判・表】【知・技】 行動観察【主】
1 ～ 3	スポーツの指導法と安全	(内容) 運動障害とその予防を理解を深める。【知・技】 自分の専門種目の運動障害とその予防方法をレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】 (内容) 運動時に起こる傷害や、種目ごとの障害の特性について理解する。【知・技】 ・内科的疾患と対策(急性・慢性) ・外傷、傷害(体幹・上肢) ・外傷、傷害(下肢、種目による特性)	レポートの内容の分析【思・判・表】【知・技】 行動観察【主】

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に 自分自身の競技生活を振り返り、健康の保持増進を図るためや競技力向上のための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や団体の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。レポートを中心に調べ学習を中心に進めます。積極的に活動することが大切です。

令和 7 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 生涯スポーツ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科体育コース2・3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 から 7	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・ガイドダンス ・基本練習	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【知・技】バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主】バードゴルフに主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9 から 12	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・個人技能 ・簡易ゲーム	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【思・判・表】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【知・技】生涯スポーツの種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 【主】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1 から 3	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・基礎練習 ・応用練習 ・簡易試合	種目として「バドミントン」「卓球」を取り上げ、競技の進め方や競技規則を正しく理解し、安全公正に試合を行うこと。 【知・技】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかり行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 2年次
教科書	高校生の音楽2 教育芸術社	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを捉え、表現上の効果について理解している。(知) ・それぞれの言葉、楽器、音素材の特徴を理解し、それらを表現するための発音、奏法、身体の使い方を身に付け、表現上の効果を生かしている。(技) ・他者との調和から生まれる効果を活かして演奏している。(技)	・音楽を形づくっている要素などを知覚し、それらの働きを感じながら関わりについて考え、個性豊かに表現を工夫している。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えている。 ・曲や演奏について根拠をもって批評している。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・他者の音楽表現を捉え、調和を意識している。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・音楽用語 ・音楽記号 ・歌唱の技能 ・演奏の技能 ・読譜及び記譜の技能 など	・プレゼンテーション ・ディスカッション ・グループワーク など	・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽性理解 など
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・各種技能テスト ・聴音テスト ・学習プリント	・各種技能テスト ・学習プリント ・プレゼン資料	・授業内での姿勢、発言 ・学習課題 ・プリント提出

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	音楽ってなんだろう	鑑賞	教材 学習プリント	・学習プリント
	音楽の楽しみ 5 線記譜法	器楽演奏(ハンドベル) 楽典	教材 「Shall We Dance ?」 聴音課題	
5	音楽の楽しみ	器楽演奏(ハンドベル)	教材 「Shall We Dance ?」 ・メロディーに合わせた奏法 ・ハンドベルの奏法、演奏	・器楽実技テスト ・小テスト
	聴音課題 音程	ソルフェージュ 楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	
	歌の楽しみ	歌唱表現	教材 「夏は来ぬ」	
6	聴音課題 音程	ソルフェージュ 楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	・聴音テスト ・小テスト ・学習プリント
	昔話と音楽	鑑賞	教材「はげ山の一夜」 ・物語から生まれる音楽 ・音楽の要素から表現方法を 探り、深める。	
7	音楽の力	鑑賞	教材 「ボヘミアンラプソディ」	
9	ドイツ語歌曲	歌唱表現	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える	・小テスト ・学習プリント
	コードネーム	楽典	教材 学習プリント ・コードを理解する	
	日本各地の伝統芸能	鑑賞	教材 各地の芸能及び沖縄の 伝統芸能	
10	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	ドイツ語歌曲	歌唱表現	教材「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の表現を学ぶ	
	サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・身近なものを紹介する ・抑揚と旋律の関わり ・コードから旋律を作る	
	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	

11	サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・ 作品を楽譜に起こす ・ 作品を音にする	・ 作曲音源 ・ 発表内容
	世界の音楽	器楽演奏(ハンドベル)	教材「雨にぬれても」 ・ 付点リズムの習得 ・ リズムに合う表現	
	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	・ 聴音テスト
12	世界の音楽	器楽	教材「雨にぬれても」 ・ 楽曲に合う奏法、表現	・ 器楽実技テスト
	5 線記譜法	楽典	聴音課題	・ 聴音実技テスト
1	5 線記譜法 日本の心	楽典 歌唱表現	聴音課題 教材「糸」 ・ 日本語の表現 ・ 季節を味わう	・ 学習プリント
	音楽で辿る ローマの歴史	鑑賞	教材「ローマの松」 ・ 曲の文化的、歴史的背景を理解する ・ 情景と音楽の関わりを知覚する	
2	5 線記譜法 日本の歌	楽典 歌唱表現	聴音課題 教材「糸」 ・ 日本語の表現	・ 聴音実技テスト ・ 歌唱実技テスト
	音楽の楽しみ	アンサンブル	教材「デスクドラミング」 ・ 音色の違い、音の重なりを感じる ・ 個性豊かな表現	
3	5 線記譜法 音楽の楽しみ	楽典 アンサンブル	聴音課題 教材「デスクドラミング」	・ 聴音実技テスト ・ アンサンブル実技テスト

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1年間を通して、身近な音楽から世界の音楽まで、幅広く学んでいきたいと思います。
また、1年生で身に付けた力を基に作曲にも挑戦し、表現の幅を広げていきましょう。
とにかくやってみることが大切です。どんどんチャレンジしていきましょう。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科2年次
教科書	高校生の音楽 2 教育芸術社	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを捉え、表現上の効果について理解している。(知) ・それぞれの言葉、楽器、音素材の特徴を理解し、それらを表現するための発音、奏法、身体の使い方を身に付け、表現上の効果を生かしている。(技) ・他者との調和から生まれる効果を活かして演奏している。(技)	・音楽を形づくっている要素などを知覚し、それらの働きを感じながら関わりについて考え、個性豊かに表現を工夫している。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えている。 ・曲や演奏について根拠をもって批評している。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・他者の音楽表現を捉え、調和を意識している。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・音楽用語 ・音楽記号 ・歌唱の技能 ・演奏の技能 ・読譜及び記譜の技能 など	・プレゼンテーション ・ディスカッション ・グループワーク など	・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽性理解 など
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・各種技能テスト ・聴音テスト ・学習プリント	・各種技能テスト ・学習プリント ・プレゼン資料	・授業内での姿勢、発言 ・学習課題 ・プリント提出

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	音楽ってなんだろう 日本の歌 時代様式に合わせた奏法	鑑賞 歌唱 器楽演奏(専門楽器)	教材「4分33秒」 ・身近な音楽を感じる 教材「夏は来ぬ」 ・日本の四季と音楽の関わり 教材 各専門楽器による ・作曲者について知る ・時代様式を理解する ・時代に合わせた奏法や表現を知る	・学習プリント
5	日本の心 日本の歌 時代様式に合わせた奏法	器楽演奏(ハンドベル) 歌唱 器楽演奏(専門楽器)	教材「通リゃんせ」 ・イングリッシュベルの奏法の習得 教材「夏は来ぬ」 ・日本の四季と音楽の関わり 教材 各専門楽器による ・時代様式に合った奏法を身に付ける ・知識をまとめる	・器楽実技テスト ・歌唱実技 ・作成資料
6	日本の心 昔話と音楽 時代様式に合わせた奏法	器楽演奏(ハンドベル) 鑑賞 器楽演奏(専門楽器)	教材「通リゃんせ」 ・メロディーに合わせた奏法 ・ハンドベルの奏法、演奏 教材「はげ山の一夜」 ・物語から生まれる音楽 ・音楽の要素から表現方法を 教材 各専門楽器による ・時代様式に合った表現	・器楽実技テスト ・学習プリント
7	音楽の力	鑑賞	教材 「ボヘミアンラブソディ」	
9	ドイツ語歌曲 音楽様式に合わせた奏法	歌唱表現 器楽演奏(専門楽器)	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える 教材 「枯葉」 ・ジャズの起源を知る ・ジャズの奏法を理解する ・ジャズプレイヤーを知る	
	ドイツ語歌曲 日本各地の伝統芸能	歌唱表現 鑑賞	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える 教材 各地の芸能及び沖縄の	・歌唱実技テスト ・学習プリント

10	音楽の仕組み	アンサンブル	伝統芸能 教材「クラッピングカルテット」 ・音色の違い、音の重なりを感じる ・個性豊かな表現	
	音楽様式に合わせた奏法	器楽演奏(専門楽器)	調べ学習	
11	ハンドベルの響き	器楽演奏(ハンドベル)	教材「White Christmas」 ・ハンドベルの奏法を身に付ける	・器楽実技テスト
	音楽の仕組み 音楽様式に合わせた奏法	アンサンブル 器楽演奏(専門楽器)	教材「クラッピングカルテット」 調べ学習 まとめ	・実技テスト ・プレゼン
12	音楽様式に合わせた奏法	器楽演奏(専門楽器)	ジャズ奏法の習得	・ジャズ奏法実技テスト
	音楽の力	鑑賞	教材「サウンドオブミュージック」 ・音楽の持つ力を考える	
1	日本の心	歌唱表現	教材「糸」 ・日本語の表現	・歌唱実技
	音楽で辿る ローマの歴史	鑑賞	教材「ローマの松」 ・曲の文化的、歴史的背景を理解する ・情景と音楽の関わりを知覚する	・学習プリント
2	表現方法の探求	器楽演奏(専門楽器)	教材「威風堂々」 ・ハンドベルの表現を工夫する	・器楽実技テスト
	サウンドロゴを作る	創作	教材 学習プリント ・抑揚と旋律の関わり ・コードから旋律を作る	
3	サウンドロゴを作る	創作	教材 学習プリント	・実技テスト

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

普段接することの少ないジャンルの音楽や楽器に触れ、表現力を身に付けます。
また、専門的な知識と楽曲に見合った奏法を知ることによって楽曲を多角的に捉え、表現の幅を
格段に広げていきます。個性豊かに表現するために、多くの音楽に触れることは必須です。
楽曲につながる色々なことに興味を持ち、深く深く掘り下げていきましょう。

令和7年度 音楽科 器楽演奏法Ⅱ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	副教材のみ	副教材等	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

2 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的 背景との関わり、及び音楽の多様性 について理解を深めるとともに、創意 工夫を生かした音楽表現をするため に技能を身に付けている。	・器楽演奏に関わる知識や技能を得 たり生かしたりしながら、個性豊かに 器楽表現を創意工夫している。 ・演奏上の課題に直面したときに、 的確な解決方法を見出す工夫がある。	【観点の到達目標】 ・主体的・協働的に音楽の諸活動に 取り組んでいる。 ・他者の演奏を聴き、音楽を評価し ながらよさや美しさを深く味わって いる。
【イチカシ学カスタンダード】 ・音楽文化への理解 ・読譜の技能 ・演奏の技能 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・音色 ・アゴーギグ ・構成 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽表現への理解 など
【評価の方法】 ・個人レッスン ・実技試験	【評価の方法】 ・個人レッスン ・実技試験	【評価の方法】 ・進捗表 ・伴奏合わせ

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	器楽演奏 (ピアノ)	教材「バイエル」「ソナチネ」 ねらい: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的 背景との関り及びその関わりによって生 み出される表現上の効果を理解し、身 につける。	
5		〈初心者〉 【知・技】 ・運指、音の配置を理解し、 基礎的な奏法を身に付けている。 【思・判・表】 ・他者の演奏を聴き、 自分なりに評価し、よさを味わって いる。 【主】 ・実技試験に向け、主体的に音 楽を追求しようとしている。 〈中級者〉 【知・技】 ・楽譜から作曲者の意図を 理解し、楽器を通して自己表現する 力が身に付いている。 【思・判・表】 ・曲の特徴を捉え、 記譜されている音楽記号に忠実に表 現している。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表

6		【主】実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。 〈上級者〉 【知・技】・楽譜から作曲者の意図を理解し、楽器を通して自己表現をする力が身についている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
7	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「各楽器の課題曲」 ねらい:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【知・技】・楽器の特徴を理解し、それにふさわしい自己表現を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
9	器楽演奏 (ピアノ)	教材「枯葉」 ねらい:ジャズの特徴であるスウィングのリズムを理解し、曲想と楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、身につける。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・
10		〈初心者〉 【知・技】・正確なリズムを身に付けている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
		〈中級者〉 【知・技】・楽譜から作曲者の意図を理解し、楽器を通して表現する力が身についている。 【思・判・表】・フレーズに合わせた表現をしている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
11		〈上級者〉 【知・技】・リズムの抑揚を感じ理解し、楽曲の雰囲気に合わせた表現方法を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
12	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「自由曲」 【知・技】・様々な時代の曲想と楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、表現する力を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
1	器楽演奏 (ピアノ)	教材「バイエル」 「ソナチネ」 ねらい:表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付ける。	
2		〈初心者〉 【知・技】・楽譜の読み方を理解し、音の鳴りが均等になるよう技術を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
		〈中級者〉 【知・技】・曲の雰囲気を理解し、それに合わせた音色になるよう技術を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
		〈上級者〉 【知・技】・曲が作られた時代背景を理解し、それにふさわしい表現方法を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
3	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「エチュード」 【知・技】・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身に付けている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・1曲ごとに時間をかけて取り組みます。練習時間の集中力と、レッスンで与えられた課題を解決する能力が必要になってきます。
- ・分からないことは質問し、たくさんの曲に触れて音楽性を高めていきましょう。
- ・楽譜を配付しますので、保管用にA4のポケットファイルを準備してください。

令和7年度 音楽科 音楽理論

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	3年普通科・2学一般音
教科書	楽典(音楽之友社)	副教材等	

2 科目の目標

音楽理論の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・楽典の内容を理解し、創造的に表現する技能を身に付けている。 ・楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けている。 ・音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・楽典の内容をふまえて表現の工夫をしている。 ・音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力, 判断力, 表現力を身に付けている	【観点の到達目標】 ・楽典に対して興味関心を高めている。 ・意欲的に楽典の問題に取り組むとともに、授業中の集中力の維持、積極性等の観点において的確に行動できている。 ・音楽に関する基礎的な理論について理解を深め、主体的に表現や鑑賞に生かそうとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・読譜・記譜の技能 ・調判定の技能 ・音程 ・音階 ・音楽用語 ・音楽記号 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・コード演奏 ・調判定 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学ぶ姿勢 ・授業内での発言 など
【評価の方法】 ・单元テスト ・期末試験 ・学習プリント	【評価の方法】 ・单元テスト ・期末試験 ・授業内でのコード演奏 ・学習プリント	【評価の方法】 ・单元テスト ・期末試験 ・授業内での姿勢 ・学習プリント

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	五線の名称	五線の名称 楽譜を構成する上で必要な五線の名称について学ぶ。	・学習プリント ・単元テスト ・授業の取り組み ・期末試験
5	音名	音名 音楽に使われる音の高さにつけられた名称を、日本語のほか複数の多言語で学ぶ。	
6	音部記号	音部記号 さまざまな音部記号を理解する。	
7	変化記号・異名同音	変化記号・異名同音 変化記号・異名同音について理解する。	
	音符と拍	音符と拍 音符・休符の名称や五線への書き込み方、拍と拍子について理解する。	
	音程	音程 音と音のへだたりを表す単位や完全系の度数、長短系の度数を理解する。	
		【知・技】・楽典の内容を理解し、楽譜に示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けている。 【思・判・表】・音楽理論の内容をふまえ、様々な学習に活用し、表現している。 【主】・意欲的に授業へ取り組み、音楽に対して関心を高め、主体的に音楽を追求しようとしている。	
9	音階調	音階と調 長音階、短音階、全24調の仕組み、同主調、平行調、属調、下屬調について理解する。	・学習プリント ・単元テスト ・授業の取り組み ・期末試験
10		【知・技】・楽典の内容を理解し、楽譜に示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けている。	
11		【思・判・表】・音楽理論の内容をふまえ、様々な学習に活用し、表現している。	
12		【主】・意欲的に授業へ取り組み、音楽に対して関心を高め、主体的に音楽を追求しようとしている。	
1	和音・コード	和音・コード 4種類の三和音、セブンスコードについて理解し、演奏を行う。	・学習プリント ・単元テスト ・授業の取り組み ・期末試験
2		【知・技】・楽典の内容を理解し、楽譜に示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けている。	
3		【思・判・表】・音楽理論の内容をふまえ、様々な学習に活用し、表現している。 【主】・意欲的に授業へ取り組み、音楽に対して関心を高め、主体的に音楽を追求しようとしている。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・音楽の理論について学習する授業です。
- ・音楽表現がなんのためにあって、どのように価値あるものなのかを真剣に考えることが本当の芸術の価値に近づくための方法です。そのためには狭い音楽ジャンルに自分の興味を閉じこめてしまうことなく、大きな視野に立って音楽の世界をとらえることが大切です。自分としては、違和感を覚える音楽演奏に接したときでも、それを簡単につまらないものと決めつけないで、自分なりにその音楽の良さをとらえようと努力をして下さい。
- ・楽器、楽譜などは常に大切に扱って下さい。道具を大切に扱うことが音楽を大切にする態度につながり、自分たちの授業を豊かなものにします。
- ・自分で解決できない疑問点、演奏の方法でわからないことなどは、積極的に質問することが大切です。
- ・音楽表現はその中に人と人を結びつけるメッセージが込められているものです。そのメッセージを伝えるための基礎的な知識を身に付けていきましょう。

令和7年度 音楽科 ソルフェージュⅡ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	高校生の音楽Ⅱ(音楽之友社) コールユーブンゲン (大阪開成館) 新曲視唱(音楽之友社)	副教材等	楽典(音楽之友社)

2 科目の目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解している。(知) ・表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけている。(技) ・視唱及び聴音に関する知識や技能を身につけている。	【観点の到達目標】 ・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫している。(思・判) ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想や美しさを表現しているか。(表)	【観点の到達目標】 ・主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・視唱の技能 ・聴音の技能 ・合唱の技能 ・記譜、読譜の技能 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・グループワーク ・ディスカッション など	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・技能テスト	【評価の方法】 ・技能テスト ・授業内での取り組み	【評価の方法】 ・授業内での姿勢、発言

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音	・2度音程の歌い方 ・2～3度音程(No.1～5) ・花は咲く ・楽譜の正しい書き方 ・旋律聴音でクラス分け 【知・技】 ・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト

		【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
5	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音	・シンコーペーションの歌い方 ・2～3 度音程 (No.6～25) ・花は咲く ・四分音符、二分音符、四分休符を含んだ旋律聴音 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
6	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
7	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・八分音符や休符の入った楽譜の歌い方 ・刺繍音 (No.16～30) ・少年時代 ・総合問題 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
9	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・八分の三、八分の六拍子の曲の歌い方 ・4 度音程 (No.1～15) ・心の瞳 ・シンコーペーションを含んだ曲 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
10	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・付点音符の歌い方 ・4 度音程 (No.16～30) ・心の瞳 ・三連符を含んだ旋律聴音 ・和声聴音 (二声) 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
11	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・5 度音程の歌い方 ・5 度音程 (No.1～20) ・心の瞳 見上げてごらん夜の星を ・臨時記号のある旋律聴音 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
12	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱	・復習 (1, 2 学期の内容) ・5 度音程 (No.21～30) ・見上げてごらん夜の星を ・総合問題 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわす	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト

	・聴音	ために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
1	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・6 度音程の歌い方 ・増 1 度音程 (No.1～10) ・民衆の歌 ・イ短調の旋律聴音 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
2	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・弱起の曲の歌い方 ・増 1 度音程 (No.11～20) ・民衆の歌 ・和声聴音 (三声開離・大譜表) 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト
3	・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱→2 部合唱 ・聴音	・復習 ・増 1 度 (No.21～30) ・民衆の歌 ・総合問題 【知・技】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解し、表現意図を音楽であらわすために必要な技能を身につけようとしている。 【思・判・表】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせながら他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・授業内での取り組み、姿勢、発言 ・技能テスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・音楽表現がなんのためにあって、どのように価値あるものなのかを真剣に考えることが本当の芸術の価値に近づくための方法です。そのためには狭い音楽ジャンルに自分の興味を閉じ込めてしまうことなく、大きな視野に立って音楽の世界をとらえることが大切です。自分としては、違和感を感じる音楽演奏に接したときでも、それを簡単につまらないものと決めつけないで、自分なりにその音楽の良さをとらえようと努力をして下さい。

・楽器、楽譜などは常に大切に扱ってください。道具を大切に扱うことが音楽を大切にする態度につながり、自分たちの授業を豊かなものにします。

・自分で解決できない疑問点、演奏の方法でわからないことなどは、積極的に質問することが大切です。

・自分の演奏ばかりに集中するのではなく、鑑賞で聞く曲や、教師・友人の演奏をしっかりと聴いて授業を受けてください。音を聴き取る自分の判断が、なによりも授業の助けとなるからです。その中にはたくさんの発見があるはずです。

・音楽のいろいろな表現方法を学習する授業です。授業の形は活動内容(歌唱・器楽・鑑賞・創作)に合わせて様々に変化します。(集団演奏、個人演奏、グループ演奏等)

・音楽表現はそこに人と人を結びつけるメッセージが込められているものです。そのメッセージを伝えるためには演奏の実技練習・発表は大変重要な活動となります。メッセージを受け取る側としての態度を養い、より豊かな内容を聴き取ることも1年間の学習の上で大きな目標となります。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2 学年 D～S 組
教科書	書道Ⅱ (東京書籍)	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意義や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書の伝統に基づいた効果的な表現のための技能を身に付ける。 (よく見て正確に表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫した作品作りを習得する。 ・作品や書の伝統と文化の意義や価値を考え、書的美しさを味わい深く捉える。 (自分の思いを表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に書の創造的な表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート など	【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート など	【評価材料等】 ・ワークシート ・取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	ワークシート
5		・篆書 ①泰山刻石 ②石鼓文 ③甲骨文・金文 ④篆刻	・篆書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・篆書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・篆書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・篆書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
6		・隸書 ①乙瑛碑 ②居延漢簡 ③石門頌	・隸書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・隸書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・隸書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・隸書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
7				
9	漢字の書	・草書 ①十七帖 ②書譜 ③自叙帖	・草書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・草書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・草書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・草書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
10				
11		・行書 ①集王聖教序 ②顔真卿の三稿	・代表的な行書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・行書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
12		・楷書 ①薦季直表 ②爨宝子碑 ③始平公造像記・張猛龍碑 ④孟法師碑・樂毅論 創作	・代表的な楷書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・楷書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・楷書の古典を鑑賞し、作者や時代背景などに関する知的理解を深める。 ・主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組む。 ・学習した古典、習得した技法を生かして作品を制作する。	ワークシート 作品 観察 作品 観察

1	仮名の書	・ 仮名の書の成立 ・ 古筆の鑑賞と臨書 ①高野切第一種 ②本阿弥切本古今和歌集・関戸本古今和歌集 ③香紙切・針切	・ 仮名の成立と変遷について理解する。 ・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・ 古典に基づく用筆・運筆の表現技法を習得し、短冊や散らし書きなどの形式について理解を深める。 ・ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
2				
3	漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫	・ 漢字、仮名の古典をもとに、その表現を生かした漢字仮名交じりの書の作品を作る。 ・ 漢字と仮名の調和の方法を考え工夫し、自分の感性を表現する。 ・ 書の学習を生活の中のさまざまな場面で生かす工夫をする。	作品 観察

担当者からのメッセージ(学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、書写能力の向上を図りましょう。
- ・ 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けましょう。
- ・ 書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
- ・ 主体的に書の創造的な活動に取り組みましょう。
- ・ 書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみましょう。
- ・ 書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。
- ・ 作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。
片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

令和7年度 芸術科 美術Ⅱ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	光村図書出版 美術Ⅱ	副教材等	

2 科目の目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	【観点の到達目標】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・対象や事象を捉える造形的な視点の習得 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す力	【イチカシ学カスタンダード】 ・造形的な見方・考え方を活用し、主題を生成したり、個性豊かに発想し構想を練ったりする力 ・自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・主体的に多様な価値観と触れ合う
【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・行動観察

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション 美術はなぜ学ぶのか	【知・技】 社会における美術の役割を理解している。 【思・判・表】 社会における美術の役割を理解したうえで、授業でどのように取り組んでいくかや、美術を学ぶ意義を考え、自分の言葉で表すことができる。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
5	絵画鑑賞	【知・技】 形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】 造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

		【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	
6	絵画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】自分が選んだ作品について深く考察し、自分との関連性や、自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
7	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
9	映像メディア表現	【知・技】主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
10	映像メディア表現	【知・技】主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
11	立体デザイン	【知・技】造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 【思・判・表】社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に生活の中にある美術やデザインなどを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
12	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者のねらいや目的と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者のねらいについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
1	現代美術鑑賞	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
2	コラージュ	【知・技】形や色、構図などが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから、個性豊かに主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
3	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・指示をよく聞き、マナーを守り、安全な活動を心掛けてください。皆が気持ちよく授業に参加できるようにしましょう。
- ・課題は授業時間内での完成を目指し、締め切りに間に合うようにしましょう。作業が遅れている者は補講も実施しますが、怠惰が理由の場合の補講の参加は認めません。欠席が多くなってしまった場合は自分から相談をすること。
- ・提出物(ワークシート、作品等)は、締め切りを守り、確実に提出してください。未完成のものや期限を守らないものは大幅に減点します。
- ・美術は答えがたくさんある教科です。自分の答えを持つことはもちろん大切ですが、他者の答えも大切にしてください。様々な価値観を認められる心を育みましょう。

令和7年度 美術 クラフトデザイン シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2年次
教科書	なし	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	染色（手拭い）	手描き染めによる手拭い ・名画を選ぶ	・原色日本の美術、浮世絵、アールヌーボーのデザインなど過去の名作をアレンジして、手拭いをデザインする。	・過去の名品に触れ、味わうことができたか。
5		・手拭いに名画をレイアウト	・自分の選んだ名画を手拭いの大きさに落とし込んでいく。 ・いくつか組み合わせてもよい。	・絵画の比率と手拭いの比率を考えられたか。 ・美しくレイアウト出来たか。
6		・転写 ・線描	・パネルに晒しぬのをマスキングテープで貼る。 ・名画の原画をトレーシングペーパー紙に写し、用意してあるボール紙に貼り、その上に晒し布を伸ばしてマスキングテープで貼り、布ペン（極細）で描いていく。	・トレーシングペーパーで写すときの注意として、その線を元に名画を描いて行くことを考えられたか。 ・本番の描写は綺麗に適切に描けたか。
7		・彩色	・全て線描したら、布ペンで彩色していく。 ・混色、ぼかしなども、適切に指導しながら、難易度をあげ、友禅染をイメージさせながら染めていく。	彩色はきれいにできたか。 ・配色は適切に考えられたか。 ・ぼかし、混色はきれいにできたか。
8				
9	A ベルトとバツクル B シルバーリング	A か B を選んで制作 A デザイン B デザイン	A ・デザイン ・図面 ・鑢で削る B ・デザイン ・ロウ付け ・丸く叩く	AB ともに技法、手順を理解してデザインできたか ・A 鑢は適切に安全に使えたか ・B はロウ付け、叩きは適切に安全に作業できたか。

10			A・バックルの形が出来たら耐水ペーパーで磨き上げる B・指輪が丸くなったから鑢できれいな平角にする ・デザインに応じて鑢で形をつくって	A・自分のデザインをいかし、きれいに鑢で削れたか。左右対称の形は綺麗にできたか。 B・指輪は綺麗に丸く削れたか
11			A・革を染めて、アンティークダイ、トコノールコパコートで磨く。 ・自分のサイズに切りベルトに仕立てる B・耐水ペーパーで磨き上げていく。 ・研磨剤でみがく。	A・革の質感を生かして仕上げられたか。仕立ては丁寧にできたか。 B・指輪の傷は取りきれたか
12			A・バックルとベルトをカシメる。 B・指輪の内側も綺麗に磨く	AもBも自分のデザインに忠実にそしてこだわりをもって制作できたか。
1	陶芸	カップかどんぶりを選り上絵で装飾	陶芸の中でも上絵付という技法を学ぶ ・上絵の具、上絵シートと2種類の技法があるが、説明をよく理解しデザインしていく	・デザインは適切か。 ・色彩を考えてバランスよくデザインできたか
2			・カップ、どんぶりに上絵シートか上絵絵具で加飾していく	・上絵シート、上絵の具の扱い（カッター、やハサミの使い方、筆の扱い）は適切に安全にできていたか
3	鑑賞	一年間の作品を振り返る	お互いの作品を鑑賞し意見を出してみる	自分や友人の作品を客観的に意見を出し合おう

担当者からのメッセージ(学力をみにつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など)

工芸の中でも身近な素材(布、土、金属、木、革など)に触れ、感性を磨き、道具の使い方を学び、技術を高め、作品を作る喜びを体験する。

令和7年度 芸術 工芸Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 2年次
教科書	工芸Ⅱ 日本文教出版	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

2 学習の計画

月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	木工	・ウッドシート模様によるハンガー	・ハンガーのデザインを考える。 ・材料の切り出し ・ハンガーの外郭線に沿ってのこぎりで切る。 ・中心に4mmの隙間をあけ、木工ボンドで接着する。	・制作方法を理解したか。 ・のこぎりの使い方はよいか。 ・ボンドの量と固定具の使い方はできているか。
5			・ベルトサンダーを使いハンガーの形にしていく。 ・ボードやすり、紙やすりを使い磨く。	・ベルトサンダーを安全にかつ的確に使う事ができたか。 ・磨きは綺麗にできたか。

6		・ウッドシートで加飾	・ウッドシートをデザインに沿ってカッター、ハサミなどを使い、切って木工ボンドで張っていく。	・きれいに切って貼ることが出来たか。形により、道具を選択できたか。 ・木工ボンドはきれいに張れたか。
7		・真鍮フック ・ニス仕上げ	・4mmの真鍮棒をハンガーのフックの形に叩いて作る。 ・ワッシャーを入れ、固定。 ・水生ニスを刷毛で塗っていく。 乾いたら紙やすりで軽く磨きニスを塗る。これを繰り返ししあげる。	・フックは形よく出来たか。 ・ニスは綺麗に塗れたか。磨きは綺麗にできたか。
9	金工	アルミボウル	・20cm四方1mmのアルミ板を丸く切り、木槌を用いて叩いて、鈍しては叩きを繰り返しボウルを造る。	・糸鋸で安全に丸く切れたか。 ・鈍しと叩きを理解し安全に的確に作業できたか。
10			・ボウルの形ができたなら、縁の模様を考えて糸鋸、透かし模様（ボール盤で穴をあけ）なども考えていれる。	・縁の形や透かし模様は美しく切れたか。切ったあとの処理は綺麗にできたか。
11	金工	・銀の匙を制作 ・デザイン	・使いやすさも大事だが、そばに置きたいおしゃれなアイスクリームスプーンを創ろう。 ・少し厚めの（3mm）銀材料を使い、お皿の部分は叩いて1mm位にして、柄の部分は細く叩く。	・わくわくするデザインは出来たか。
12			・鈍し、叩きを繰り返す。	・鈍し、叩きを安全にかつ的確にできたか。
1			・大体の形に伸びたら、左右対称をとり、糸鋸、鑢で形を整える。 ・金槌跡をなくすように鳴らし打ちをして平らにし、鑢で整える。	・きれいに叩けたか。 ・糸鋸できれいに切れたか。

Ⅱ か ら ま で			・スプーンの形にお椀状に叩き耐水ペーパー#240 から # 2000 ま でかけて、研磨剤を使い磨き上げる。	・金やすりは適切に使えたか。 ・丸みはうまく叩けたか。 ・磨きはきれいに出来たか・ピカールはきれいに出来たか。
3		講評会	・仕上がったお互いの作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞する。	・一年間を通して授業に積極的に取り組んだか。

担当者からのメッセージ（学力みにつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しいことなど）

工芸Ⅰで学んだ事を踏まえてより高度な技術を身に着け、豊かな生活を楽しむ術を学んでいきたいとおもいます。

令和7年度 ディベートディスカッション I

I 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年 A、 α 、 β
教科書	LANDMARK Fit2 English Communication II (啓林館)	副教材等	LANDMARK Fit2 English Communication II WORKBOOK (啓林館)

2 科目の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことの3つの領域別の言語活動および複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通じて、発信能力の育成を強化する。とりわけ、スピーチやプレゼンテーション、複数の段落から成る文章を書くことなどの活動を通して、論理の構成や展開を工夫して話す、書く、伝える資質・能力を養う。

3 観念の到達目標および評価の観念・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観念の到達目標】 ・情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現の形・意味・用法を理解している。 ・学んだ知識を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを論理的に表現する基本的な技能を身につけている。	【観念の到達目標】 ・ディベートやディスカッションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に、かつ論理的に表現したり伝えあっている。	【観念の到達目標】 ・適切な表現を用いてながら、自身の考えや情報、気持ちなどを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・語彙 ・文法 ・リスニングのスキル など	【イチカシ学カスタンダード】 ・ペアトーク ・グループワーク ・プレゼンテーション ・エッセイ など	【イチカシ学カスタンダード】 ・異文化理解 ・主体的に学ぶ姿勢 など
【評価の方法】 ・単元テスト ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・スピーキングテスト ・ペアトーク・グループワークへの取り組み	【評価の方法】 ・宿題 ・ワーク提出 ・ペアトーク・グループワークへの取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	【紹介する・自分の意見を述べる】 ・良い方・好きな方を選び、理由をのべる	【知・技】どちらが好きか、どちらが良いか比較級を用いて表現する。理由を論理的に表現する。 【思・判・表】与えられた topic に対して、適切な言語材料を用いて、自分の考えを分かりやすく表現している。相手が述べたことを聞き取り、適切に応答している。 【主】自分の考えを積極的に述べようとする。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み
5	【紹介する・意見を述べる】 ・身近な話題について、話す	【知・技】ディベートのやり方を理解し、その立場での意見を述べる。 【思・判・表】置かれた立場での情報収集を行い、情報を適切に表現する。 【主】自分の考えを述べるために、十分な情報収集を行い、適切に活用している。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み
6	【分析する・説明する】 ・相手に伝わる自己紹介	【知・技】自分を表す英単語をたくさん調べ、身に付けようとする。 【思・判・表】既習の英単語、言語材料を適切に活用し、自分についての説明をする。 【主】自分を表す英単語をたくさん調べ、習得しようとしている。相手意識を持って自己紹介する。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み
7	【理解する・紹介する】 ・アメリカの高校生活について理解し、自分の高校生活を紹介する	【知・技】アメリカの高校生活についての説明を聞き、他国の高校生活について理解する。 【思・判・表】アメリカの高校生活の説明を聞き、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめ、プレゼンテーションとして output する。 【主】説明を聞き、メモをとる、質問をするなど、他国の高校生活をより詳しく理解する。	ワークシート パフォーマンス テスト 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み 学期末提出物
9	【即興性のあるやりとり】 ・外国から来た人について観光地について説明する	【知・技】レストランや、空港、道案内(電車の乗り換え)など、場面に適した表現を活用する。 【思・判・表】設定場面の状況を判断し、既習表現を用いて、適切に応答する。 【主】設定場面を理解し、積極的に役割になりきり、場面によつての適切な表現を身に着ける。	ワークシート パフォーマンス テスト 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み
10	【話し合う】 ・旅行計画を立て、提案する	【知・技】旅行提案をするときに順序だてて情報を分かりやすく整理し、説明する。 【思・判・表】比較結果や行きたい旅行についてのプレゼンを聞いて、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめ、プレゼンテーションとして output する。 【主】比較結果・行きたい旅行について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークシートの 取り組み
11	【自分の意見を書く】 外国映画の見方についてのライティング	【知・技】ディベートを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】外国映画を見るときには「字幕版」か「吹き替え版」か、肯定側・否定側に分かれてディベートをする場面において、否定・肯定の立場を明確にし、必要な情報を読み取り、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】肯定側・否定側に分かれてディベートに挑戦する。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークへの取り組み
12	【自分の考えを書く】 日本を訪れる外国人についてのライティング	【知・技】調査結果についてのプレゼンテーションを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】調査結果についてのプレゼンを読んで、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめ、プレゼンテーションとして output する。 【主】調査結果のプレゼンテーションについて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また、プレゼンテーションに必要なデータの収集に積極的に努める。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークへの取り組み 学期末提出物
1	英文法の基本と違いについて	【知・技】スピーチを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめる。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークへの取り組み

		【主】社会問題や仮定推論について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	
2	英文法の基本と違いについて	【知・技】スピーチを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめる。 【主】社会問題や仮定推論について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート パフォーマンステスト 自己評価 ペア(グループ) ワークへの取り組み
3	英文法の基本と違いについて	【知・技】スピーチを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで、論理の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉え、自分の言葉でまとめ、プレゼンテーションとして output する。 【主】自分の主張について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また、スピーチ(エッセイライティング)に必要なデータの収集に積極的に努める。	スピーチ ワークシート 自己評価 ペア(グループ) ワークへの取り組み 学期末提出物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

ディベートディスカッションⅠでは、みなさんの文法の知識や活用力を伸ばし、論理的に英語で表現できる力をつけることを目標としていきます。書くことや話すことだけでなく、4技能(読む、書く、聞く、話す)の全てを伸ばせるように取り組んでいきます。英語での表現やディベート、ディスカッションをとる際には、自発的に英語を活用していけるように心がけていきましょう。

実技テストや普段の授業でのペアワークや発表などの活動、課題英作文などの評価配分が高くなる科目ですので、毎時間積極的に授業に取り組むようにしてください。

令和7年度 英語コミュニケーションⅡ

1 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	普通科 2 年次
教科書	LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)	副教材等	AB 組 : Evergreen English Grammar 30 Lessons (いっずな書店) C~I 組 : プレップ・イングリッシュ (旺文社) チャンクで英単語 Standard

2 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の 5 つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。具体的な活動・領域は以下の通り。(1) 聞くこと 日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握し、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。(2) 読むこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。(3) 話すこと [やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝え合うやり取りを続けることができるようにする。(4) 話すこと [発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができるようにする。(5) 書くこと 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり、読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

	①知識・技能	②思考、判断、表現	③主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要、要点、詳細を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。

読むこと	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと 「やり取り」	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して詳しく伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと 「発表」	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して詳しく伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して複数段落を用いて詳しく書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。
	【イチカシ学力スタンダード】 ・新しい語彙や文法を身につけ、教科書本文の基本的な英文の音読や読解ができるようになる。 ・本文についての英文を聞いて理解できるようになる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・本文の内容を要約し、1 分間程度でプレゼンテーションができるようになる。 ・エッセイで 30 語程度の英文が書けるようになる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・言語学習をとして、異文化を理解できるようになる。 ・ペアトークやグループワークを通して、主体的に学ぶ姿勢を身につける。

	【評価材料等】 ・ 定期考査 ・ 英単語テスト ・ 単元テスト	【評価材料等】 ・ 定期考査 ・ スピーキングテスト ・ プレゼンテーション ・ エッセイライティング ・ ペアトーク・グループワークへの取り組み	【評価材料等】 ・ 宿題 ・ ファイル提出 ・ ワーク提出 ・ ペアトーク・グループワークへの取り組み
--	---	---	--

4 3 観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	不定詞形容詞的用法 不定詞副詞的用法 動名詞	〈聞くこと〉 好きなアニメのジャンルについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み，不定詞や動名詞の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
5	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	現在完了 助動詞を含む受動態 間接疑問文 完了進行形	〈聞くこと〉 コウテイペンギンの関心がある点について話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み，現在完了形や助動詞を含む受動態，間接疑問文，現在完了進行形の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	定期考査 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセイライティング
6	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute	分詞形容詞的用法 形式目的語 SVO+to 不定詞	〈聞くこと〉 日本の誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み，分詞の形容詞的用法や形式目的語 it=to 不定	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション

	Miracle		詞，形式目的語 it=that節，〈S + V + O + to 不定詞〉の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを詳しく話して伝えあうやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して，詳しく話して伝える。 〈書くこと〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	
7	Lesson 4 Seeds for the Future	複合関係代名詞 SVO+現在分詞 完了受動態 SVO+過去分詞	〈聞くこと〉自分の関心のあることや熱中していることについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉タネの保全のための活動と取り組みについて書かれた文章を読み，複合関係代名詞や〈S + V + O + 現在分詞〉，完了形の受動態，〈S + V + O + 過去分詞〉の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して，詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	定期考査 スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング
9	Lesson 5 Gaudi and His Messenger	分詞構文 知覚動詞 付帯状況の with	〈聞くこと〉ガウディと外尾悦郎さんに関して感銘を受けたことについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み，付帯状況を表す現在分詞の分詞構文や過去分詞の分詞構文，〈S+V[知覚動詞]+O+過去分詞〉，付帯状況を表すwithの意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
10	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society	前置詞+関係代名詞 使役動詞 助動詞+完了形 完了不定詞	〈聞くこと〉「もったいない」の考えについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み，〈前置詞+関係代名詞〉や〈S+V[使役動詞]+O+過去分詞〉，助動詞+have+過去分詞，完了形の不定詞の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や概要を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉私たちが無駄にしているものについて，情報や考えを詳しく話して伝えるやり取りを続ける。	定期考査 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング

			〈話すこと【発表】〉私たちが無駄にしているものについて、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉私たちが無駄にしているものについて、情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	
11	Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal	強調構文 完了分詞構文 複合関係副詞 部分否定	〈聞くこと〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉山田周生さんの取組みについて書かれた文章を読み、強調構文や完了形の分詞構文、複合関係副詞、部分否定の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
12	Lesson 8 Our Future with AI	Ifを使わない仮定法 仮定法過去完了 非制限用法，which as ifを使った仮定法	〈聞くこと〉AIと今後の将来について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉AIとその活用について書かれた文章を読み、ifを使わない仮定法過去や仮定法過去完了、先行する節や文を受ける関係代名詞、as if を使った仮定法の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	定期考査 スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
1	Optional Lesson 1 Language Change Over Time	言語・歴史 プレゼンテーション	〈聞くこと〉日本の社会問題について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉時間とともに変化する言葉について書かれた文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉自身が関心のある事柄について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉自身が関心のある事柄について、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自身が関心のある事柄について、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション

2	Optional Lesson 2 Letters from the Battlefield	戦争・平和・ 家族愛 手紙	〈聞くこと〉手紙のやり取りについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉戦場からの手紙について書かれた文章から必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分が書いた手紙の内容について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分が書いた手紙の内容について，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分にとって特別な人に伝えたいことについて，情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で手紙を書いて伝える。	スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング
3	Reading 100 Voices from Denmark	探究活動 ディスカッション	〈読むこと〉デンマークでのフィールドワークについて書かれた文章から必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉公共の場でマスクの着用を義務付ける法律について賛成か反対か，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈書くこと〉「宿題は有益か?」「人々は肉食主義者になるべきか」「動物園は存在すべきか」のトピックについて，情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で手紙を書いて伝える。	定期考査 ペアトーク プレゼンテーション

6 担当者からのメッセージ (学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

今年度もタブレットを活用して授業を進めていきます。「いつでも・どこでも」学習することができるようになりますので、時間を有効に使って学習に取り組みましょう。

普段の授業から「聞く」「話す」「読む」「書く」の4分野を総合的に評価していきます。授業への主体的な態度も評価の対象になりますので、失敗を恐れずに積極的に発言をしてください。また、英語は使えば使うほど上達していきます。授業中はもちろんのこと、授業外でも積極的に英語を使ってコミュニケーションをとってみましょう。

令和7年度 外国語科 論理・表現Ⅱ

1 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	普通科 2年 A 組
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ (東京書籍)	副教材等	

2 科目の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことの3つの領域別の言語活動および複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通じて、発信能力の育成を強化する。とりわけ、スピーチやプレゼンテーション、複数の段落から成る文章を書くことなどの活動を通して、論理の構成や展開を工夫して話す、書く、伝える資質・能力を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現の形・意味・用法を理解している。 学んだ知識を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	【観点の到達目標】 日常的な話題や社会的な話題について、例文や辞書など一定の支援を活用しながら、まとまった長さで考えを書いたり述べたりする力を身につけている。 また、多様な語句や文を応用し、自己の考えを伝えるスピーチやプレゼンテーション、他者と協議するディベートやディスカッションに積極的に臨むことができている。	【観点の到達目標】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。 その際、自分が必要とする語彙や表現を、辞書や検索エンジン等を使って手に入れる等、意欲的に表現しようとする姿勢がみられること。
【イチカシ学カスタンダード】 ・プレゼンテーションやスピーチの準備に必要な語彙、文法力を養い、自分で原稿を作成できるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・スライドやデータを活用しながら、2分間程度のプレゼンテーションができるようになる。 ・例文や辞書など一定の支援を活用しながら、まとまった長さ(100 語程度～)で文章が書けるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・プレゼンテーションやスピーチの準備として、ペアワークやグループワークを積極的に行い、主体的に学ぶ姿勢を身につける。 ・自分のプレゼンテーションのテーマを工夫して伝えようとする姿勢を身につける。
【評価の方法】 ・単元テストおよび授業内プリント ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・プレゼンテーション ・ペアワーク・グループワークへの取り組み	【評価の方法】 ・ペアワーク・グループワークへの取り組み ・ファイル提出 ・ワークシート提出 ・自己評価・リフレクション

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	Unit 1 Lesson 1 友達に報告する Unit 1 Lesson 2 日本での初登校	【知・技】日本への留学の報告や初登校についての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】友人同士の会話のやりとりを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(海外に行く目的や学校での清掃活動など)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
5	Unit 1 Lesson 3 経験についてのスピーチ Unit 1 Lesson 4 ファンレター	【知・技】ボランティア経験や歌手へのファンレターについてのスピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】ボランティア経験やファンレターについて書かれた文章を読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(ボランティア経験やファンレター)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
6	Unit 1 Lesson 5 イベントに誘う Unit 1 Lesson 6 図書館で資料さがし	【知・技】教室や図書館での会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】会話のやりとりを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(イベントへの誘いや図書館での活動)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
7	Unit 1 Lesson 7 翻訳についてのスピーチ Unit 1 Lesson 8 通信販売で返品依頼	【知・技】翻訳についてのスピーチや返品依頼のメール本文を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】翻訳についてのスピーチを読んで, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(英訳短歌や俳句の紹介・英文問い合わせフォームの作成)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み 学期末提出物
9	Unit 1 Lesson 9 タクシーに乗る Unit 1 Lesson 10 友達とディスカッション	【知・技】タクシーでの会話や教室内での友人とのディスカッションを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】会話文やディスカッションを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(タクシーでのやり取り・模擬ディスカッション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
10	Unit 1 Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション Unit 1 Lesson 12 就きたい職業	【知・技】比較結果や就きたい職業についてのプレゼンを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】比較結果や就きたい職業についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(比較結果・就きたい職業)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
11	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート②	【知・技】ディベートを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】「谷中タワー」建設について, 肯定側・否定側に分かれてディベートをする場面において, 否定・肯定の立場を明確にし, 必要な情報を読み取り, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】肯定側・否定側に分かれてディベートに挑戦する。	ディベート ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
12	Unit 2 Lesson 3 クラスでディベート③	【知・技】調査結果についてのプレゼンテーションを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】調査結果についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み

	Unit 2 Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション	図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(調査結果のプレゼンテーション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, プレゼンテーションに必要なデータの収集に積極的に努める。	ークへの取り組み 学期末提出物
1	Unit 2 Lesson 5 社会問題についてのスピーチ Unit 2 Lesson 6 仮定して推論する	【知・技】スピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(社会問題や仮定推論)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
2	Unit 2 Lesson 7 比較して説明する	【知・技】比較結果についてのプレゼンを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】比較結果についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(比較結果のプレゼンテーション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, 比較するものの選定, プレゼンテーションに必要なデータの収集に積極的に努める。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
3	Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する	【知・技】スピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(自分の主張)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, スピーチ(エッセイライティング)に必要なデータの収集に積極的に努める。	スピーチ ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み 学期末提出物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

論理表現Ⅱでは、「論理表現Ⅰ」で学んだ「英語で表現できる力」を更に伸ばすことを目標としていきます。英語での表現やコミュニケーションをとる際の、自発的に英語を活用していける姿勢はもちろん、モデル文や教科書のフレーズを応用しながら、プレゼンテーションやディベートにも挑戦し、より英語を自在に使えるように心がけていきましょう。

定期テストは実施しませんので、普段の授業でのペアワークや発表などの活動、課題英作文などの提出物で評価を行います。毎時間積極的に授業に取り組むようにしてください。

令和7年度 外国語科 論理・表現Ⅱ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科 2年 B 組
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ (東京書籍)	副教材等	

2 科目の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことの3つの領域別の言語活動および複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通じて、発信能力の育成を強化する。とりわけ、スピーチやプレゼンテーション、複数の段落から成る文章を書くことなどの活動を通して、論理の構成や展開を工夫して話す、書く、伝える資質・能力を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現の形・意味・用法を理解している。 学んだ知識を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	【観点の到達目標】 日常的な話題や社会的な話題について、例文や辞書など一定の支援を活用しながら、まとまった長さで考えを書いたり述べたりする力を身につけている。 また、多様な語句や文を応用し、自己の考えを伝えるスピーチやプレゼンテーション、他者と協議するディベートやディスカッションに積極的に臨むことができている。	【観点の到達目標】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。 その際、自分が必要とする語彙や表現を、辞書や検索エンジン等を使って手に入れる等、意欲的に表現しようとする姿勢がみられること。
【イチカシ学カスタンダード】 ・プレゼンテーションやスピーチの準備に必要な語彙、文法力を養い、自分で原稿を作成できるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・スライドやデータを活用しながら、2分間程度のプレゼンテーションができるようになる。 ・例文や辞書など一定の支援を活用しながら、まとまった長さ(100 語程度～)で文章が書けるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・プレゼンテーションやスピーチの準備として、ペアトークやグループワークを積極的に行い、主体的に学ぶ姿勢を身につける。 ・自分のプレゼンテーションのテーマを工夫して伝えようとする姿勢を身につける。
【評価の方法】 ・単元テストおよび授業内プリント ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・プレゼンテーション ・ペアトーク・グループワークへの取り組み	【評価の方法】 ・ペアトーク・グループワークへの取り組み ・ファイル提出 ・ワークシート提出 ・自己評価・リフレクション

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	Unit 1 Lesson 1 友達に報告する Unit 1 Lesson 2 日本での初登校	【知・技】日本への留学の報告や初登校についての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】友人同士の会話のやりとりを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(海外に行く目的や学校での清掃活動など)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
5	Unit 1 Lesson 3 経験についてのスピーチ Unit 1 Lesson 4 ファンレター	【知・技】ボランティア経験や歌手へのファンレターについてのスピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】ボランティア経験やファンレターについて書かれた文章を読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(ボランティア経験やファンレター)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
6	Unit 1 Lesson 5 イベントに誘う Unit 1 Lesson 6 図書館で資料さがし	【知・技】教室や図書館での会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】会話のやりとりを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(イベントへの誘いや図書館での活動)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
7	Unit 1 Lesson 7 翻訳についてのスピーチ Unit 1 Lesson 8 通信販売で返品依頼	【知・技】翻訳についてのスピーチや返品依頼のメール本文を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】翻訳についてのスピーチを読んで, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(英訳短歌や俳句の紹介・英文問い合わせフォームの作成)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み 学期末提出物
9	Unit 1 Lesson 9 タクシーに乗る Unit 1 Lesson 10 友達とディスカッション	【知・技】タクシーでの会話や教室内での友人とのディスカッションを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】会話文やディスカッションを読んで, 必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(タクシーでのやり取り・模擬ディスカッション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
10	Unit 1 Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション Unit 1 Lesson 12 就きたい職業	【知・技】比較結果や就きたい職業についてのプレゼンを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】比較結果や就きたい職業についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(比較結果・就きたい職業)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
11	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート②	【知・技】ディベートを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】「谷中タワー」建設について, 肯定側・否定側に分かれてディベートをする場面において, 否定・肯定の立場を明確にし, 必要な情報を読み取り, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】肯定側・否定側に分かれてディベートに挑戦する。	ディベート ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
12	Unit 2 Lesson 3 クラスでディベート③	【知・技】調査結果についてのプレゼンテーションを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】調査結果についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み

	Unit 2 Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション	図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(調査結果のプレゼンテーション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, プレゼンテーションに必要なデータの収集に積極的に努める。	ークへの取り組み 学期末提出物
1	Unit 2 Lesson 5 社会問題についてのスピーチ Unit 2 Lesson 6 仮定して推論する	【知・技】スピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめる。 【主】Make Your Own でのトピック(社会問題や仮定推論)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
2	Unit 2 Lesson 7 比較して説明する	【知・技】比較結果についてのプレゼンを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】比較結果についてのプレゼンを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(比較結果のプレゼンテーション)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, 比較するものの選定, プレゼンテーションに必要なデータの収集に積極的に努める。	プレゼン ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み
3	Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する	【知・技】スピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】スピーチを読んで, 論理の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉え, 自分の言葉でまとめ, プレゼンテーションとして output する。 【主】Make Your Own でのトピック(自分の主張)について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。また, スピーチ(エッセイライティング)に必要なデータの収集に積極的に努める。	スピーチ ワークシート 自己評価 ペア(グループ)ワークへの取り組み 学期末提出物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

論理表現Ⅱでは、「論理表現Ⅰ」で学んだ「英語で表現できる力」を更に伸ばすことを目標としていきます。英語での表現やコミュニケーションをとる際の、自発的に英語を活用していける姿勢はもちろん、モデル文や教科書のフレーズを応用しながら、プレゼンテーションやディベートにも挑戦し、より英語を自在に使えるように心がけていきましょう。

定期テストは実施しませんので、普段の授業でのペアワークや発表などの活動、課題英作文などの提出物で評価を行います。毎時間積極的に授業に取り組むようにしてください。

令和7年度 外国語科 中国語 I

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	標準 高校中国語(白帝社)	副教材等	なし

2 科目の目標

中国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、異文化に対する関心を深め、尊重する態度を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 中国文化についての知識や、新出単語・文法を身に着け、短文がつかれるようになる。 ピンイン・声調を正確に発音できる力	【観点の到達目標】 数字や基礎的な文法を理解し、自分の身の周りのことについて話したり、述べたりする力を身に着ける。	【観点の到達目標】 中国語や中国文化に対する理解を深め、主体的に追及・解決しようとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新出単語や文法の確実な習得 ・ピンイン・声調を正確に発音できる力	【イチカシ学カスタンダード】 ・既習単語や表現を使い、情報や気持ちを伝える力 ・10語程度の作文を書く力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む。 ・主体的な課題の発見・解決 ・自らの学び方も学ぶ
【評価の方法】 ・定期考査 ・発音テスト	【評価の方法】 ・作文 ・ペアトーク	【評価の方法】 ・宿題 ・振り返りシートにおける記述

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識技能及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から基準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	発音① あいさつ 声調・基本母音	【知・技】 基本母音と声調を理解し、正しく発音できる。 【思・判・表】 状況に応じた簡単な挨拶を使い分け、表現できる。 【主】 中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
5	発音② 二重母音・三重母音	【知・技】 二重母音・三重母音を理解し、正しく発音できる。 【思・判・表】 2文字以上の単語を正しく発音し、声調・ピンインを聞き分けられる。 【主】 中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
6	発音③ 子音と母音の組み合わせ 第1・2課 「あいさつ」	【知・技】 子音と母音の組み合わせを理解し、単語を正しく発音できる。 【思・判・表】 状況に応じた簡単な挨拶を使い分け、表現できる。 【主】 中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート

7	第3課 自己紹介	【知・技】自己紹介の表現を覚え、自分のことを紹介できる。 【思・判・表】自己紹介をし合い、聞いたことを他の人に伝える文が書ける。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート ・定期考査
9	第4・5課 「是」を使った文 副詞・反復疑問文	【知・技】「是」・副詞・反復疑問文の使い方を覚え、自分のことを伝える文が書ける。 【思・判・表】学んだ文法を使って、他の人に質問し、自分のことも伝えることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
10	第6・7課 疑問詞 指示代名詞	【知・技】疑問詞・指示代名詞の使い方を覚え、自分のことを伝える文が書ける。 【思・判・表】学んだ文法を使って、他の人に質問し、自分のことも伝えることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
11	第8・9課 動詞述語文 形容詞述語文	【知・技】動詞述語文・形容詞述語文の使い方を覚え、自分のことを伝える文が書ける。 【思・判・表】学んだ文法を使って、他の人に質問し、自分のことも伝えることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
12	第10課 「有」を使った文 数の数え方	【知・技】1～99までの数字や「有」の使い方を覚え、自分や身の周りのことを伝える文が書ける。 【思・判・表】学んだ文法を使って、他の人に質問し、自分のことも伝えることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート ・定期考査
1	第11課 「一」の変調 「在」を使った文	【知・技】「一」の変調のしくみと「在」の使い方を覚え、自分のことを伝える文が書ける。 【思・判・表】学んだ文法を使って、他の人に伝えることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
2	第12課 助数詞 曜日の表し方	【知・技】助数詞、曜日の表し方について知り、今日の日付を言える。 【思・判・表】学んだ文法・知識を使って、日付を尋ねたり聞き取ったりすることができる。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート
3	1年間のまとめ	【知・技】既習内容を踏まえ、中国語検定準4級の問題を解くことができる。 【思・判・表】学習した文法を使って、自分のことを紹介する文が書ける。 【主】中国文化・中国語のしくみについて、主体的に追及しようとしている。	・発音テスト ・振り返りシート ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- 中国語マスターへの道は、正しい発音と文法を身につけること。そして何より、「中国文化や中国語が好き!!という気持ち」を持って、自分から積極的に授業に参加・発表しましょう!語学は、使っていくうちに身につけていきます。失敗を恐れず、習ったことをどんどん使って、中国語や中国文化を楽しんでください。
- 授業では、林先生は発音を中心に、河野は文法を中心に教えます。持ち物は、教科書・ファイル・chromebook・「やる気」です。毎時間忘れず、必ず持ってきてましょう。授業後の振り返りシートは、「自分が考えたこと、次はどんなことを頑張りたいか、そのために何を頑張るか」を書き、自分の課題を見つけ、解決する力を評価します。

令和7年度 家庭科 家庭基礎

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次普通科 スポーツ科学科
教科書	未来へつなぐ 家庭基礎 365 (教育図書)	副教材等	生活ハンドブック (第一学習社)

2 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	【観点の到達目標】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎を理解し、それらに係る技能が身につく。	【イチカシ学カスタンダード】 グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 授業に集中して取り組み、テーマごとの課題解決を目指す。 実習、ワークシートを通して、知識を整理する。 疑問に思ったことは質問するなど反復することで理解を深める。
【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート ・作品 など	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート ・作品 ・グループワーク など	【評価の方法】 ・宿題 ・ワークシート ・作品 ・定期考査 ・グループワーク など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名 A 編 第1章 生涯の生活設計 I	【知・技】・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思・判・表】・自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。 【主】・生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート
5	A 編 第2章 青年期の自立と 家族・家庭	【知・技】・青年期の5つの自立について理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 【思・判・表】・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート グループワーク

6	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 【思・判・表】・自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。 【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。	ワークシート 実習 グループワーク
7	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート 定期考査
9	A編 第4章 高齢期の生活と福祉	【知・技】・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 ・認知症の特徴や対応方法を理解している。 【思・判・表】・高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。 【主】・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。	ワークシート グループワーク 実習 宿題
10	A編 第5章 共生社会と福祉 B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 ・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。 ・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート グループワーク 実習
11	C編 第1章 生活における経済の計画 C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 ・契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。 【思・判・表】・消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。	ワークシート グループワーク 実習
12	C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・金融商品とその特徴について理解している。 【思・判・表】・将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 【主】・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。	ワークシート 定期考査
1	C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。 【思・判・表】・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。 【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。	ワークシート グループワーク
2	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・食品の表示の意味を理解している。 【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 【主】・実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。	ワークシート グループワーク 実習
3	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート グループワーク 実習 定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

学習の中で習得した知識や技術を日常生活の中に活かすことで、より主体的な高校生活が送れることを期待します。

また、1年間の学習を通して、自らの生活の中で課題を発見し、改善していく力を身につけてほしいと思います。